１．　環境学習コーディネート実施概要（Web 掲載）

依頼№	5	事例№	4	依頼者	新城市市民協働部 環境政策課	実施場所	新城市役所会議室
実施対象	小学 1 年生～6 年生とその保護者（未就学児同伴可）　28 名						
実施日時	令和 7 年 8 月 2 日（土）14 時 00 分～15 時 15 分						
テーマ	親子で楽しく参加できる市民環境講座						

●依頼内容

夏休みの自由研究のテーマとなるような環境問題への取り組みについて、小学生の親子で楽しく学ぶ環境学習講座の講師および企画内容の提案。

●講師：村瀬政彦 氏（愛知県地球温暖化防止活動推進員、あいち eco ティーチャー）

村瀬政彦氏は、ごみ・資源循環・3R、エネルギー問題などを専門とされ、愛知県地球温暖化防止活動推進員であるとともに、「あいち地球温暖化対策人材登録・紹介ネット（温暖化まなびネット）」、「あいち eco ティーチャー」にも登録されている。

●授業の内容

講義	講義は、地球温暖化と植物の光合成をテーマに行われた。大気中の二酸化炭素は海や樹木によって吸収されているが、人間が出す二酸化炭素の量がその吸収量を超えてどんどん増えてしまったために地球温暖化が進んでいることを学んだ。また、樹木が酸素を出して二酸化炭素を吸収する、光合成の仕組みについて学んだ。 つづいて、工作の時間に作るカード型顕微鏡（レーウェンフック顕微鏡）の歴史や仕組みと作り方、その顕微鏡を使って葉っぱや塩、コショウなどの小さなものを観察する方法について学んだ。	30 分
工作・観察	スチレンボードと直径 2㎜ ほどのガラスビーズを使ってカード型顕微鏡を完成させた。その後、観察用の素材として用意された木の葉、塩、コショウ、シナモン、タマネギのなかから好きなものを選んでプレパラートを作り、カード型顕微鏡と重ねあわせ、光にかざしながら覗いて各素材を観察した。	45 分

●授業の様子

講義は、パワーポイントや動画を使って行われた。講師からは、地球温暖化に関わるクイズや質問が投げかけられ、子どもたちは手を挙げて元気に答えていた。工作では、小さなガラスビーズの扱いに苦労しながらカード型顕微鏡を仕上げた後、好きな素材をせたプレパラートを作って一生懸命レンズをのぞき込んでいた。なかなか上手く見ることができず苦戦する様子もみられたが、講師からアドバイスを受けながら、いろいろな素材のプレパラートを作って顕微鏡で観察していた。

地球温暖化の原因と光合成の仕組みについて学んだ。



カード型顕微鏡を作って、葉っぱや塩を観察した。

